

金型「じゃない方事業」に楽しく本気で取り組み、新しい市場を創出する

「できたから売ろうではない。世の中のニーズを捉えてものづくりをしないといけない（代表取締役社長 野田 太一氏）」

○事業展開の背景、効果・反響

- ・創業以来、金型製作の技術向上に努め、電気鋳造を活かした高い意匠性と低コストを両立する金型は国内外の自動車メーカーで採用されている。
- ・一事業に依存しない体制を確立するため、新分野の開拓にも果敢に挑み、2021年に金型以外の新規事業に取り組む事業部として「じゃない方事業部」を設立。「社会にいま必要なモノを、必要としている場所と人に、すぐに届けよう」をスローガンに、精密金型で培った設計力を活かし、新たな市場の創出を積極的に行っている。
- ・「じゃない方事業部」の第一弾として、台風や集中豪雨などの大雨による水害から建物や設備を守る災害対策品の止水板「スーパー止水番2」を市場に展開。きっかけは本社横に水路があり、近年多発する水害に備えようと止水板の設置を検討したこと。これが市場で高く評価され本格販売に繋がり、これまで累計4,000枚以上の設置実績を誇っている。洪水被害の多い東南アジアへの販売網の構築も行っている。
- ・止水板をはじめとした防災製品の技術を結集し、デジタルサイネージを開発。そのほか耐震鉄骨シェルター、津波シェルター、蓄光式夜間誘導灯などの防災製品を中心に様々な新規事業を展開。「じゃない方事業」の売上は総売上の25%を占めるまでに成長。

○今後の展開

- ・「社会に貢献する会社」という経営理念のもと「防災・防犯・防衛」を軸に時流に合った事業を展開していく。

<企業情報>

所在地：愛知県江南市安良町地蔵51番地
代表者：代表取締役社長 野田 太一
創業：1965年

従業員数：228名
資本金：9,390万円
事業内容：各種金型製作、各種生産設備機器の製造
HP：<https://www.ktx.co.jp/>



スーパー止水番2
(出所：KTX(株)HP(<https://www.ktx.co.jp/news/start-up/water-stop/p3642/>))



デジタルサイネージ (出所：KTX(株)HP(<https://www.ktx.co.jp/other/>))